バスの現在地が一目で分かる！
「洞爺バスどこ？」実証実験開始

町や洞爺湖温泉観光協会、道南バスなどで構成されている「洞爺湖地域版MaaS推進協議会」は、10月1日から、路線バスや虻田地区コミュニティバス、スクールバスの位置情報を発信する「洞爺バスどこ？」の実証実験を開始しました。

洞爺湖温泉観光協会では、以前から冬季に「雪が降っているが、バスは出発しているのか」「遅延はしていないのか」など、観光客からの問い合わせがあり、対応に困っていたと言います。

ニーズに対応するため、交通の検索やキャッシュレス決済を一括して行える仕組み「MaaS（Mobility as a Service）」の一環で、国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業補助金を活用して、同実証実験を実施。

同実証実験は、衛星利用システム（GPS）をバスに搭載し、停留所などにあるポスターのQRコードをスマートフォンで読み込むと現在バスが走行している場所が表示されます。バスの走行状況は、洞爺湖温泉観光協会やJR洞爺駅、とうや水の駅にある電子掲示板（サイネージ）でも確認できます。バス情報を発信することによって利用者や案内するホテルのフロントなどの利便性が向上することが見込まれます。

大楽事務局長は「バスの位置情報の『見える化』を進めながら利便性を高め、観光を楽しんでもらいたいです」と話しました。

■問合せ　洞爺湖温泉観光協会（☎75－2446）

宝くじ助成金事業
「令和２年度コミュニティ助成事業」で整備しました

青葉２区自治会にアルミテント１式、物置１棟を宝くじ助成金事業で購入しました。

この事業は、自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業、宝くじの受託事業収入を財源として、集会施設やコミュニティ活動備品の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくりなどに対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するものです。

９月29日に、青葉２区自治会と購入したアルミテントの設営と、物置の確認を行いました。今後行われる自治会内のイベントなどで活用していく予定です。

整備された物置

整備されたテント